

【東署トピックス】

☆大分東警察署で行っている各種活動の一部を紹介します☆

○ 乗り物等被害について

当署管内では、自転車盗、オートバイ盗が、多発しています。

特に、自転車盗は「約 50 %が駅の駐輪場で発生」「被害のほとんどが無施錠の自転車」という特徴があります。



○ 特殊詐欺被害について

警察官や検察官をかたる者から電話がかかり、「あなたの口座が犯罪に使われている。無実を証明するために、あなたの口座のお金を送金してもらう。」等と言われ、お金をだまし取られる被害が多数発生しています。

警察官等が、お金の送金を依頼することはありません。



「自分の身を守る術」を 知って詐欺の天敵になりましょう。

大分県内では、子供や孫などを名乗って電話をかけてくるオレオレ詐欺にだまされる被害が後を絶ちません。
手口は知っていても、「自分はだまされない」と思っている人も少なくありません。
突然かかってくるだましの電話(アボ電)に自衛の意識・手段を持つことが大切です。

被害防止のポイントは「手口を知る」+「高い防犯意識」です。

「オレオレ詐欺」の手口

ケース1 息子をかたるもの

ある日突然、「もしもし、△△だよ。今度帰るから。」と息子の名前を名乗る男から電話が…。その後、「風邪を引いて声が変わった、携帯電話番号が変わった。」と言い、本当の息子と信じ込ませて、「実は…**株に失敗した。会社の金を使い込んだ。金が必要。**」と泣きついてきて、お金を振り込ませたり、代わりの者に渡すよう指示してきます。



ケース2 警察や金融機関職員をかたるもの

「大分警察署、生活安全課の〇〇です。詐欺の犯人を捕まえたら、**あなたの口座が悪用されていることがわかりました。**後ほど〇〇銀行の方から連絡があります。」と電話がかかります。
その後、金融機関職員を名乗る者から「**キャッシュカードを作り直します。暗証番号を教えてください。**」と連絡があり、キャッシュカードを指定の場所へ送るよう言われたり、家に来た犯人にカードを騙しとられ、お金を引き出されたりしてしまいます。

「オレオレ詐欺」にはコレが効く!!!

その1 家族で「合言葉」を決めよう!

「かかってきた電話のその相手は本当に息子?」
確認するために、日頃から家族で頻繁に連絡を取り合い、合言葉を決め、家族の絆で不審電話を撃退しましょう。



その2 「迷惑電話防止機能付電話機」を設置しよう!

犯人は自分の声を録音されることを嫌います。
不審電話に警告と録音をする「迷惑電話防止機能付電話機」を設置しましょう。



その3 「まもめーる」を登録しよう!

県警では、最新の被害者情報や特殊詐欺の手口などを「まもめーる」で配信中です。
情報を知ることが、皆さんの武器になります。ぜひ登録をお願いします。



メールの場合

「e@ansin-oita.jp」に
空メールを送って登録
して下さい。

アプリの場合

Android携帯は
こちらから



iPhone携帯は
こちらから



○ 万引き被害防止対策の実施について

万引き被害の防止のため、大分東警察署独自で作成した「万引き被害防止ポスター」をスーパーやドラッグストア等で掲示し、注意喚起を行っています。

